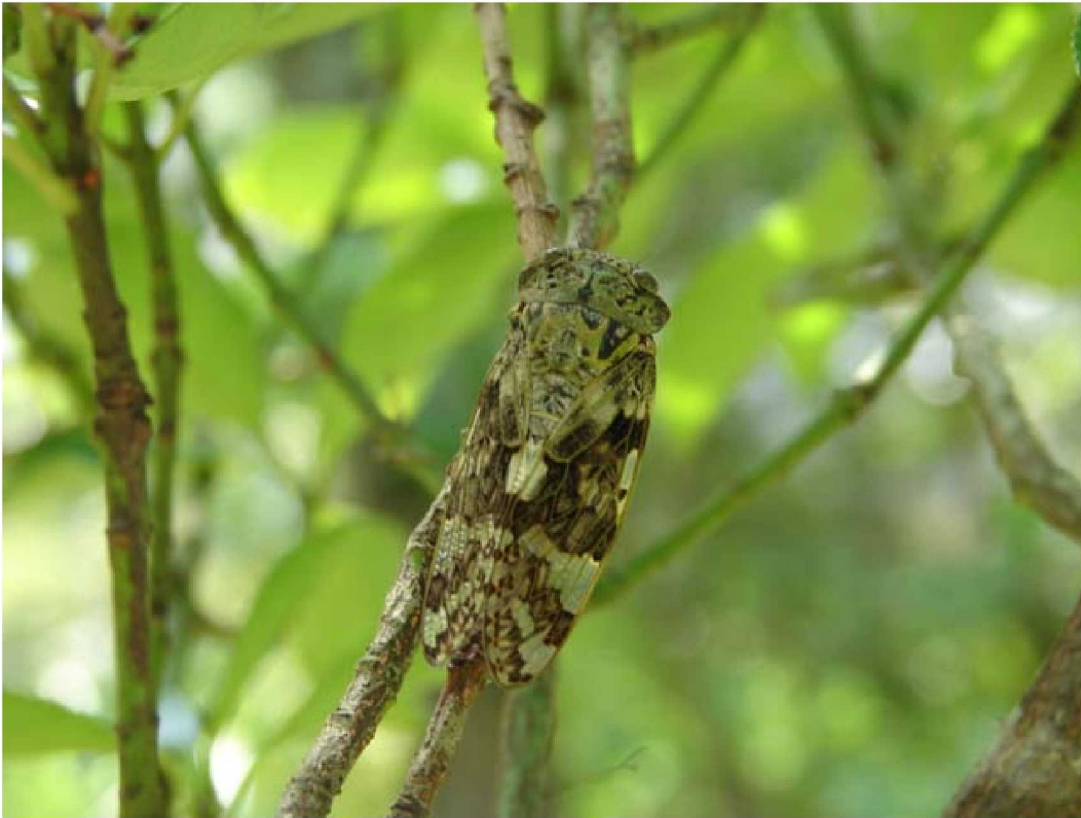


「今月の1枚」



ニイニゼミ （セミ科） *Platypleura kaempferi*

北海道、本州、四国、九州、沖縄本島などに分布し、森林や緑地に普通に見られます。体長は約22mmで、翅（はね）は透明の地に黒褐色の模様があります。四国では6月中旬か下旬ごろから9月上旬ごろまで成虫が発生し、ジーーーーっという地味な声で鳴き続けます。夏に鳴くセミの仲間の中でもっとも早く出現する種類です。ニイニゼミが鳴き始めてから、およそ半月くらい後にクマゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミなどが鳴き出すと、夏も真っ盛りになります。

（写真：溝渕照江、文：佐藤重穂 2008年7月31日 高知県高知市にて撮影）

（No.175 2008. 8. 19 掲載）